

授業科目	*看護研究の基礎				実務家教員担当科目	○	
単位	1.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期
担当教員	溝部 昌子						
授業概要	<p>看護研究の基礎的事項を学び、研究計画書作成を通して、Evidence-Based Nursing を実践できる情報活用技術、科学的思考を体験的に修得する。興味・関心のある事柄について基礎的事項や関連事項の情報収集と整理を繰り返し、物事を深く理解し他者に伝えること、リサーチクエスションの焦点化によって、看護実践での現象や実態を明らかにする研究力の修得を目指す。</p> <p>研究プロセス、文献クリティーク、量的データの集計、質的データの集計、調査票の作成、研究テーマの選定、研究計画書、研究説明・同意文書、抄録作成にの課題に取り組む。</p>						
授業形態	講義	授業方法	講義、演習、プレゼンテーション				
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<p>理想的なレベルには達しないものの、興味・関心のある事柄について、情報収集と整理を繰り返し、深く理解することを体験できている。得られた情報を看護や学修場面で想起することができる。リサーチクエスションの焦点化が十分とは言えないが、研究方法の選定は妥当である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究の流れを理解し説明できる (DP1-2) 2. 文献クリティークを作成できる (DP2-1) 3. 尺度の活用や回答様式を検討し、質問紙を作成できる (DP1-2, 2-1) 4. 指定された質的データの内容分析を行い、結果を示すことができる (DP2-1) 5. 研究テーマについて情報を整理し、媒体を用いてプレゼンテーションできる (DP2-1, 4-3) 6. 研究計画書を作成できる (DP1-2, 2-1) 7. 研究計画、研究目的にあった質問票を作成できる (DP1-2, 2-1) 8. 学生を対象とした質問紙調査を実施し、結果を集計することができる (DP2-1, 4-3) 9. 調査結果について考察し、抄録を作成できる (DP2-1, 4-3) 10. 研究成果をプレゼンテーションできる (DP2-1, 4-3) 						
理想的レベル	<p>情報収集と整理を繰り返し、自身の興味・関心のある事柄を見出すことができる。見出した研究テーマについて網羅的に収集した情報から合目的かつ客観的に資料を選定し、深い理解に到達することができる。集めた情報を整理し、媒体を用いて他者にわかりやすく伝えることができる。得られた情報を、看護の実践や学修に活用することができる。研究テーマについてリサーチクエスションを焦点化し、研究の基礎的事項を踏まえ、実態や新たな知見を得るための合理的な研究方法を策定することができる。調査で得られたデータを適切に処理し、結果を集計し、結果を要約して示すことができる。結果の解釈と文献的に多様な視点から、考察し、リサーチクエスションに応じた意見提示をすることができる。</p>						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合 (数値)				備考		
試験							
小テスト							
レポート	15%						
発表 (口頭、プレゼンテーション)							
レポート外の提出物	65%						

その他		20%									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	NU21405J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
<ul style="list-style-type: none"> ・講義のあと、各自 PC を用いて情報検索、資料の作成を行います ・情報収集や整理、調査研究の準備・実施・まとめなどでグループワークが必要です 										1	
授業計画											
第 1 回	1. 看護研究とは、研究のプロセス 序章 1章 終章 看護と研究、看護における EBP, EBN、研究の実際と研究デザイン レポート①：看護研究の意義について 担当：溝部昌子										
第 2 回	2. 研究課題の選定、情報検索 2章、3章 研究課題とリサーチクエスション、情報検索、資料の種類、データベース 担当：財津倫子										
第 3 回	3. 論文クリティーク 3章、9章 文献の読み方、クリティークの作成 レポート②：指定論文のクリティークの作成 担当：溝部昌子										
第 4 回	4. 研究倫理 4章 研究の倫理原則、遵守すべき倫理原則、権利擁護、研究の依頼と同意 担当：石井美紀代										
第 5 回	5. 量的研究の基礎 5章 研究デザインの選択、研究デザインの違い、量的研究デザイン、観察的研究、実験研究 信頼性、妥当性、プラセボ効果、盲検化 担当：財津倫子										
第 6 回	6. 質的研究の基礎 5章 質的研究デザイン、事例研究、質的記述的研究、内容分析、エスノグラフィー 担当：吉原悦子										
第 7 回	7. 量的データの収集と分析【演習】 6章 7章 Web フォーム作成と回答、回答の集計、グラフ作成 担当：財津倫子										
第 8 回	8. 質的データの収集と分析【演習】 6章 7章 質問項目の作成と回答、コード化、カテゴリー化 担当：吉原悦子										
第 9 回	9. 情報検索と資料の整理【演習】 2章 12章 研究背景、研究前提の情報収集と整理、リサーチクエスションの焦点化										

	担当：溝部昌子
第10回	10. 研究計画書の作成①【演習】 8章、11章 研究背景、研究目的、研究方法 担当：石井美紀代
第11回	11. 研究計画書の作成②【演習】 8章、11章 調査の対象、調査項目、結果の集計 担当：石井美紀代
第12回	12. 調査票、研究説明・同意文書の作成【演習】 6章、8章 研究説明・同意文書、質問票（A4 1枚程度、5G対象20人程度） 担当：吉原悦子
第13回	13. 調査の実施【演習】 4章、6章、7章 研究説明と同意、調査の実施、回答、データ入力、データ集計 担当：財津倫子
第14回	14. 研究成果のまとめ方【演習】 9章 論文作成、研究背景、調査方法、調査結果、考察、抄録作成、プレゼンテーション資料の作成 担当：財津倫子
第15回	15. 研究成果の発表【演習】 9章 パワーポイントプレゼンテーション 担当：溝部昌子
テキスト	・系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・研究課題、リサーチクエストに関連ある事柄の意図的な情報収集、定期的な情報検索の仕組みを自分なりに持ちましょう ・データベース、文献検索以外にも、看護医療系雑誌、SNS、Webサイトなどの情報に努めて触れてください
課題に対するフィードバックの方法	・別途示す評価表に基づいて評価し、返却します ・提出前に自己評価をして提出してください
学生へのメッセージ・コメント	これまでの看護専門科目の学修の中で、自身が興味・関心を強く持った事柄で、さらに調べてみたい、深く知りたいと感じたことを振り返ってみてください。継続的に取り組むことで充実感を得られるような研究テーマを見つけましょう。 疑問に思ったこと、知りたいことを調べる方法を実践的に学ぶ科目です。適切な研究により正しい結果が得られ、質の高い看護の提供につながります。研究知識は、看護に限らずあらゆる人の活動や思考の基盤をなし、将来にわたって欠かせないスキルであることを意識しましょう。